



2016年5月27日

ベランターラ基金

インドネシア熱帯雨林保護・再生支援『ベランターラ基金』新 CEO 就任 世界的環境エキスパートが CEO 及び諮問委員に

【2016年5月24日 - インドネシア・ジャカルタ】—インドネシア熱帯雨林保護・再生支援のための枠組み『ベランターラ基金』は、この分野において世界的に著名な3人の専門家が同基金に参画することになったことを24日に発表しました。この3名は卓越したリーダーシップと見識で同基金の活動を推進することが期待されています。

インドネシア REDD+^{*1} の前・副理事長 Agus Sari が同基金の CEO として、また、NGO レインフォレスト・アライアンス^{*2}の前・委員長 Tensie Whelan、及びインドネシアのユネスコ大使 Ir. T.A. Fauzi Soelaiman 博士が、技術面、パートナーシップ構築や国際的なプロモーション戦略の面でのアドバイザーとして諮問委員に就任しました。



ベランターラ基金 CEO

Agus Sari

Agus Sari は、企画と財務の責任者として、インドネシア REDD+の副理事長を務めました。また、それ以前はインドネシア大統領直轄の REDD+実働部隊として、森林破壊や荒廃による温室効果ガス排出削減推進活動のための財務・基金メカニズムの立案を行っていました。フルブライト奨学生としてカリフォルニア大学バークレー校でエネルギーと資源分野で学位を取得し、前職では世界最大の炭素資源開発会社エコセキュリティーズ社のカントリー・ディレクター及び地域方針ディレクターでもありました。Sari のリーダーシップのもと、インドネシアのエコセキュリティーズ社は、

「アジアで最も急速に成長している再生エネルギー会社」として、2009年フロスト&サリバンから表彰されています。

Sari は 2007 年まで気候変動についての政府間パネル、ノーベル賞受賞パネル及び気候変動の世界的権威のメンバーでした。また、環境シンクタンク・ペランギの前エグゼクティブ・ディレクターであり、スルポンのインドネシア工科大学で環境科学を教え、またカリフォルニア大学サンタバーバラ校では炭素政治の分野で教鞭をとりました。

新 CEO として Sari の就任が発表されるにあたり、『ベランターラ基金』の評議員会議長でインドネシア前・森林大臣 Marzuki Usman は次のように述べました。「『ベランターラ基金』にとって Sari 氏を迎えられたことは至上の喜びです。同氏の卓越した知識・経験・実績は、我々の目標を成功へと導いてくれると確信しています。」

また、「さらに卓越した専門家お二人を諮問委員として迎えたことは、『ベランターラ基金』にとって得難いことです。Whelan 氏と Fauzi 博士の持続可能性と自然遺産保護への取り組みは広く知られており、お二人の専門的助言を得られることは大変価値のあることです。」と Marzuki は述べました。

Tensie Whelan は、ニューヨーク大学の経営・科学分野の臨床学教授を務めながら同校の持続可能性経営センターのディレクターでもありました。Whelan は、地域及び国際環境と持続可能性問題について 25 年の経験を持ち、レインフォレスト・アライアンスの理事長としての在職期間中、持続可能性問題を経営に結びつけ、60 ヶ国 5,000 企業がレインフォレスト・アライアンスと協働し、同団体の予算を 450 万ドル（約 5 億円）から 5,000 万ドル（約 55 億円）に増やすことに成功しました。同氏は、Ethisphere Institute の、企業論理の分野において最も影響力のある 100 人の一人に選ばれており、2015 年にニューヨーク大学スターンのリーダーシップと論理のシティブフェローでもありました。

Ir. TA. Fauzi Soelaiman 博士は、ユネスコのインドネシア大使で、バンドン工科大学の研究者・教授として、教育に関する輝かしい経歴を誇っています。Fauzi 博士は、特に機械工学の分野において、多くの著作物や特許を持つ科学者です。また、世界エネルギー会議とインドネシア再生エネルギー協会のメンバーでもあります。

『ベランターラ基金』諮問委員長 Tony Sumampau は、「我々諮問委員会に新しいメンバーが加わったことは、我々の基金にとって間違いなく価値のあることです。Whelan 氏、Fauzi 博士と共に、『ベランターラ基金』の目標を達成することを期待しています。」と語っています。

以上

*1 REDD+ : <http://www.reddplus-platform.jp/>

*2 レインフォレスト・アライアンス : <http://www.rainforest-alliance.org/ja>

<『ベランターラ基金』について>



『ベランターラ基金』は、インドネシアのスマトラ島とカリマンタン島の熱帯雨林の保護と再生の実現に取り組む基金です。同基金の活動は、景観の保護と地域の活力、そして持続可能な経済成長の均衡を目指しています。インドネシアの森林保護と再生、また絶危惧種の保護、及び資金拠出を管理します。同基金は、2015 年 12 月にパリで開催された国連気候変動枠組条約締約国会議 COP21 において立ち上げられました。

同基金の追加情報につきましては、www.belantarafoundation.org/（英語）をご参照ください。なお、ベランターラ基金は、アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ（APP）により立案され、設立されました。APP は、同基金への出資、活動支援等を担っており、また、インドネシア全域の森林保護への財政的・非財政的支援に年間 1,000 万米ドル（約 11 億円）の供出を誓約しています。また、APP の持続可能性担当役員アイダ・グリーンベリーは、同基金の評議員を務めています。

<APP について>

アジア・パルプ・アンド・ペーパー・グループ（APP）は紙パルプ製造企業グループの総合ブランド名です。

APP は 1972 年にインドネシアのチウィ・キミア工場から操業を開始しました。現在はインドネシアと中国の工場群で製品を生産しています。紙、パルプ、包装紙製品、加工紙製品の総合生産能力は年間約 2000 万トンで、6 大陸 120 ヶ

国以上で製品を販売しています。また、APP は環境パフォーマンスの向上や生物多様性の保全、地域コミュニティの権利の保護をさらに向上させるため、2012年6月に「持続可能性ロードマップ ビジョン 2020」を、2013年2月に「森林保護方針」を立ち上げ、自然林伐採ゼロの誓約のもと、自社の植林木による製品づくりを行っています。2014年9月には、国連気候変動サミットの「森林に関するニューヨーク宣言」に製紙会社として唯一署名をしました。

また、2015年12月には、インドネシアの森林保護・再生支援を目的とした『ベランターラ基金』を立ち上げました。

<APPJ について>

エイピーピー・ジャパン株式会社（APPJ）は、インドネシアのジャカルタを本拠とする総合製紙企業 APP グループの日本における販売会社です。1997年の設立以来、18年以上にわたり日本市場のお客様のニーズにお応えするため、印刷用紙、情報用紙、板紙、コピー用紙、文房具などの分野で、多様な紙及び板紙製品を提供しております。

2016年4月にインドネシア企業としては初めて日本経済団体連合会（経団連）に入会しました。

www.app-j.com/

詳細な情報をご入り用の方、また、ご意見をお寄せいただける方は、下記までご連絡ください：

エイピーピー・ジャパン株式会社

コーポレートコミュニケーション本部 山梨真美

Tel: 03-5795-0023 Fax: 03-5795-0065

E-mail: mami-yamanashi@appj.co.jp

エイピーピー・ジャパン広報代理

エデルマン・ジャパン株式会社 小保内（おぼない）

Tel: 03-4360-9000 E-mail: APPJapanPR@edelman.com
